

# AAF NEWS

VOL.29

2023  
SPRING

ご協力いただいたみなさまにAAFの活動をお知らせします

## CONTENTS

### SITE REPORT

ブッダ・スクールでフェンスの増築、屋根・窓等の修理工事を進めています

ブッダ・スクールに保健室ができました

### INFORMATION

### AAF PROFILE

AAF Asian Architecture Friendship



撮影:畠 拓

ブッダ・スクール 低学年の子どもたち 校舎をつなぐ渡り廊下で

## NEWS

### ブッダ・スクールが開校20周年

AAFが支援するネパール・フィリムのブッダ・スクールが本年4月に開校20周年を迎えました。

>次ページに詳細を掲載

# NEWS

## ブッダ・スクールが開校20周年

AAFが支援するネパール・フィリムのブッダ・スクールが本年4月に開校20周年を迎えました。

1999年に初めてフィリムを訪れた時、この地には電気も電話も水道もなく、小学生十数人が野原で先生を囲んで勉強をしていました。車が通れる道から歩いて3~4日かかる陸の孤島のような村でしたが、マナスル街道を始め周辺の9つの県からの街道が交わる交通の要所でもありました。この村にぜひ高校を卒業するまで勉強できる学校を建てたい、という村長や村人の思いを受けて、2000年の春に竹中工務店設計部の有志が中心になってボランティア団体AAFを設立、学校建設計画をスタートしました。

多くの皆様からのご支援、ご協力を得ながら糸余曲折を経て、ブッダ・スクールが竣工したのが今から20年前の2003年4月です。AAFではその後も支援を続けてきましたが、この20年の間に様々なことがありました。



1999年 青空教室で勉強する子どもたち



2003年 竣工時のブッダ・スクールとフィリム村 学校周辺はすべて畠

何時間もかけて遠方から通う子どもたちのためにすぐにでも寄宿舎を建てたかったのですが、ネパールの政情が不安定な状況に加えて資金がなかなか集まらず、6年後の2009年によくやく寄宿舎3棟と食堂、便所棟を増築。教員宿舎棟を



現在のブッダ・スクールとフィリム村 学校周辺にも建物が増加☆

建設中の2015年にはネパール中部大地震により、寄宿舎3棟と教員宿舎の壁が崩れ、修復不能な被害を受けました。翌2016年から再建工事に着手、15か月かけて寄宿舎3棟を建て直し、その後も施設の整備を支援。2018年に寄宿舎を1棟増築、2021年にコンピュータールーム棟、2022年には便所棟とシャワールーム棟を増築しました。（4面AAF PROFILE参照）

2003年度に207名だった生徒数は今では400名を超え、卒業生の成績も優秀で、生徒数は増える一方。2021年にはネパール政府により校舎が増築されました。震災復興に伴い、水力発電による電気や、インターネットも使用できるようになり、フィリムはこの地域の中心的な村となっています。道も徐々に整備され、今では乾季であれば歩いて1日の村まで車が入れるようになりました。資材の運搬が容易になり、学校の周りにも年々建物が増えています。

資金面では2007年から賛助会員制度を始め、今では82名の一般賛助会員、7社の法人賛助会員の皆様にご協力いただくと共に、毎年多くの方からご寄付をいただくことによって、活動を継続することができます。AAFは当初任意団体として活動していましたが、2015年にNPO法人の認証を取得、2022年には認定NPO法人となり、寄付金の税額控除を受けることも可能になりました。また日本人でエベレスト初登頂を果たした松浦輝夫さんが設立された松浦育英基金からは開校1年後の2004年より給食費などの支援をいただき、2015年に亡くなられた後もご遺族のご厚意によりブッダ・スクールの教員給与の支援を継続していただいているいます。ネパール政府では予算の関係で必要な教員数が採用されず、やむなく辞めていく教師も多いのですが、この教員給与支援により現在ブッダ・スクールの卒業生2名が母校で子どもたちを教えています。

20年前と比べてこの地域の教育環境は格段に向上してきましたが、ブッダ・スクールでは生徒数の増加による教室不足、給食の厨房の面積不足、施設の維持管理などまだまだ様々な課題を抱えています。今後も引き続き皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

# SITE REPORT1

☆印写真は畠拓撮影

ブッダ・スクールでフェンスの増築、屋根・窓等の修理工事を進めています

2020年以降コロナ禍により現地に入るのは困難な状況が続いていましたが、ようやく渡航が可能になり昨年11月にAAFの赤尾理事長と賛助会員で写真家の畠拓さんがフィリムを視察しました。AAFのフィリム視察は2019年の9月以来約3年ぶりです。AAF NEWS vol.28でお伝えしましたように、現在、ブッダ・スクールでは生徒数が400人を超え、学年によっては教室がかなり手狭になってきていることから、次の計画としては教室棟の増築を予定していたのですが、今回の視察によりこの3年の間にかなり建物の傷みが激しくなっていることがわかりました。

特に敷地の低いレベルに建っている校舎の廊下の屋根と高窓の破損がひどく、屋根の石が落下しそうな危険な状態であるため、学校側との話し合いにより教室棟の増築よりも既存校舎の修理を先行して実施することとなりました。

低いレベルの校舎の破損は、グラウンドでのサッカーやバレーボールの競技中にボールがそれで校舎に当たることが主な原因です。そのことは当初から予想して、窓にはガラスの代わりに割れにくいアクリル板を採用していたのですが、何度もボールが当たることによりアクリル板も割れ、さらには屋根の石にも影響が出てきています。そこで今後の維持管理にも考慮し、屋根と窓の修理に加えてグラウンドに防球フェンスを増築することにしました。



傷みが激しい校舎



トタンで応急処置をしている食堂棟の厨房

また食堂棟の厨房の屋根も傷みがひどく雨漏りがするため、トタンの波板で応急処置をしている状態です。この原因は定かではありませんが、学校関係者によるとコロナ禍によるロックダウンで学校を閉鎖している間に建物の屋根や窓の劣化が進んだということです。

# SITE REPORT2

ブッダ・スクールに保健室ができました

2021年にネパール政府により建設された2階建校舎の1階の1室を保健室として利用できるようになりました。まだ常勤の保健の先生がいるわけではなく、常時保健室として使用しているわけではないのですが、年に3回ヘルス・キャンプとして医師がブッダ・スクールを訪れ、学校に通う子どもたちの健康状態を診てくれるという試みが昨年より実施されています。

下の写真は昨年11月にドイツの医療ボランティアの医師が子どもの診察をしている様子です。フィリムには保健所はありますが、いまだに病院はなく常勤の医師もいない状態です。道が整備されてきたことにより、このような医療支援がもっと広がり、医療環境が向上することを期待したいと思います。



ネパール政府が建設した校舎の1室を保健室として利用☆



診察しているのはドイツ人の医師☆

# AAF PROFILE

## AAF (Asian Architecture Friendship)

2000年、竹中工務店大阪本店設計部の有志を中心に設立した民間ボランティア団体です。

建築を専門とする職能を活かして、ネパールのフィリムでの学校建設(2003年竣工)を始め、アジア地域の開発途上国における学校等の施設建設支援を中心とする活動を行っています。

設立以来15年間任意団体として活動した後、2015年4月に特定非営利活動法人の認証を取得し、現在に至っています。

### AAFの活動と実績

- 1999.10 竹中工務店設計部有志を中心としたメンバーでネパールを視察  
1999.12 ネパールのヒマラヤ山麓の村、フィリムを調査  
2000.03 ボランティア団体AAF(Asian Architecture Friendship)を設立、ネパールのフィリムにて学校建設計画をスタート  
2001.10 草の根無償資金の供与を受け、フィリムの学校が着工  
2003.04 フィリムの学校 'Buddha Primary&Secondary School (ブッダ・スクール)' 竣工  
2005.04 「ヒマラヤに学校を建てよう! 建築家のボランティア奮闘記(彰国社)」を出版  
2005.07 「AAFのNGO活動—ヒマラヤの学校建設—」展を開催(ギャラリーエークワッド/東京)  
2006.04 こども環境学会賞活動奨励賞受賞  
2006.08 日本ネパール女性教育協会との提携によるカニヤキャンパス・ポカラ「さくら寮」竣工  
2006.10 「パラレル・ニッポン 現代日本建築展1996-2006」(東京写真美術館)に出品  
2007.05 日本建築学会賞(業績)受賞  
2008.08 フィリムのブッダ・スクール、ポカラのさくら寮がイタリアの建築雑誌'domus'に掲載  
2008.08~ 国際巡回展「地球にやさしい建築展」に出演  
2009.05 ブッダ・スクールの2期工事である寄宿舎(3棟)と食堂棟、便所棟が竣工  
2009.10 ブッダ・スクールが第11回国際石材建築賞を受賞  
2010.03 「ヒマラヤの学校建設その後—AAFのNGO活動展vol.2」を開催(ギャラリーエークワッド/東京)  
2011.09 UIA2011東京大会第24回世界建築会議にてフィリムの学校プロジェクトを発表  
2011.12 ブッダ・スクールに4棟目の寄宿舎が竣工  
2013.02 廚房棟が竣工  
2013.12 引き続き教員宿舎が着工  
2015.02 「ヒマラヤの学校建設15年の軌跡—AAFのNGO活動展vol.3」を開催(ギャラリーエークワッド/東京)  
2015.04 AAFが特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を取得  
2015.04 ネパール中部で発生した大地震により、フィリムのブッダ・スクールが被災 寄宿舎3棟と工事中の教員宿舎の壁が崩れ、修復不能な被害を受ける  
2015.09 ブッダ・スクールの被災状況について現地調査を実施  
2016.01 地震で被災した寄宿舎の再建工事に着手  
2016.04 1棟目の寄宿舎の再建工事が完了  
2016.07 自由都市・堺 平和貢献賞受賞  
2016.07 2棟目の寄宿舎の再建工事が完了  
2017.03 3棟目の寄宿舎の再建工事が完了  
2018.09 5棟目の寄宿舎が竣工  
2019.06 地震で被災した便所棟の再建工事が完了  
ブッダ・スクールの震災復興事業が終了する  
2021.01 ブッダ・スクールでコンピュータールーム棟が竣工  
2022.03 AAFが認定NPO法人となる  
2022.09 便所棟、シャワールーム棟が竣工

# INFORMATION

## カレンダー・キャンペーンにご協力ありがとうございました

2022年11月1日からスタートしましたカレンダー・キャンペーンは2023年1月31日をもちまして終了いたしました。ご協力いただきました皆様には、ここにあらためて感謝の意を表し、お礼申し上げます。

キャンペーン期間にお申込みいただきました寄付口総数は1,656口でした。寄付金は全額、フィリムのブッダ・スクールの建設費用等に充当させていただきます。

ブッダ・スクールのキャンパスの整備をはじめ、途上国での学校等の建設支援のためにはさらなる資金が必要です。AAFでは今後も募金活動を継続してまいりますので、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### >>>寄付の方法

- ① ゆうちょ銀行払込取扱票の通信欄に「寄付」とご記入の上、郵便振替にてお振込ください
- ② ホームページからお申込みいただき、クレジットカードや銀行振込も利用できます。  
下記URLまたはQRコードからアクセスいただきご利用ください。

<https://aafjpn.org/contribution/contribute/>



## AAFの賛助会員を募集しています

AAFの活動は多くの皆さまからのご協力によって成り立っています。

賛助会員制度は活動の主旨にご賛同いただき、継続してご支援いただける方にAAFの賛助会員になっていただき、その会費を支援活動の資金に充当する制度です。賛助会員はAAFの活動における資金ボランティアと位置付けられ、具体的な活動やその他の責任は求められていません。賛助会員になっていた方には会報「AAF NEWS」をお送りさせていただきます。ぜひとも多くの皆さまの入会をお待ちしております。

### >>>入会方法

ゆうちょ銀行払込取扱票の通信欄に「入会希望」とご記入の上、郵便振替にて下記の会費をお振込ください

### >>>会費

一般賛助会員: 1口 5,000円(年額)  
法人賛助会員: 1口 50,000円(年額)

## AAFへの郵便振替は下記口座にお願いいたします

>>>口座番号: 00910-0-64819

>>>加入者名: AAF基金

※払込取扱票には住所・氏名・電話番号を必ず記入してください

※電子メールをご利用可能な方はE-mailアドレスを併記ください

※個人情報はAAF基金運用の目的以外で使用いたしません

## 編集後記

20数年前、ブッダ・スクール開校前に村で出会った子どもたちは、今は働き盛り。村の内外で立派に活躍しているはず。彼らの共通の思い出である学校、その建設に携われたことは大変な幸せです。T

